

でしんち

議会をたより

2023.10.20  
No.179



えがおがいっぱい！

9月30日、駒ヶ嶺保育所運動会

《9月定例会》

- 定例議会の概要 …… 2～5
- 町政を問う …… 6～12
- 常任委員会レポート …… 13～15
- ようこそ新地町へ …… 16

9月  
定例会

9月定例会の  
あらまし

令和5年9月定例会は、9月7日から22日までの16日間の会期で開催され、教育委員会教育長の任命、工事請負契約、一般会計・特別会計補正予算、令和4年度の各会計認定など19議案を審査、原案のとおり可決した。  
また、19日と20日には6名の議員が一般質問を行った。

### 決算審査特別委員会を設置

### 特別会計含む全7案件

### 原案どおり認定

# 整備を図れ



▲決算審査特別委員会

定例議会初日に、決算審査特別委員会を設置し、委員長に水戸洋一議員、副委員長に吉田博議員を選任。特別会計を含む7会計を審査し、全て認定すべきとした。  
決算審査は、全体方式で行い、各課ごと町長・副町長出席のもと決算書、主要な成果説明書などの説明を受け、各課事業、財政など町政全般にわたり質疑・審査を行った。

## 令和4年度一般会計決算

# 河川・道路の環境

### 一般会計審査意見

#### ○歳入について

歳入決算額は87億6455万円で、主な内容は、地方交付税26億7815万円で、地震災害等により特別交付金が4億2551万円の増加、1億9206万円増となったが、総額で前年度より7280万円の減となった。

財産収入は、防災集団移転団地の土地売り払い等で5億9937万円となっている。町税は21億7400万円で固定資産税が増えたものの、町民税の減少により、前年度比328万円の減となっている。一層の課税客体把握と財源確保に努められたい。

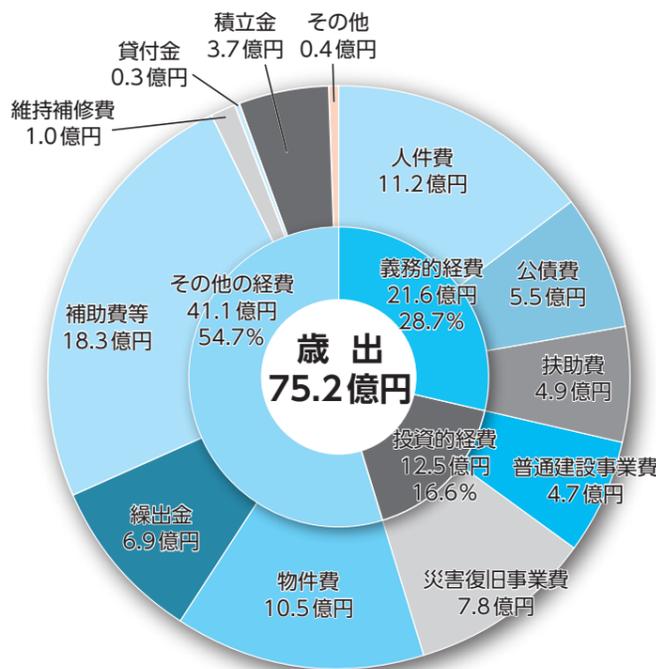
#### ○歳出について

歳出決算額は75億2003万円で、前年度比5億9544万円の減となった。  
左記の意見を付して認定した。

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策は、万全な対応を図られたい。
- ・ 職員の健康管理と適正な人的配置に努められたい。
- ・ 少子化対策の強化と福祉施策の展開に万全を期されたい。
- ・ 河川及び道路等の環境整備を図られたい。
- ・ ICT教育や学習指導等の課題解決のため、人的配置の充実を図られたい。

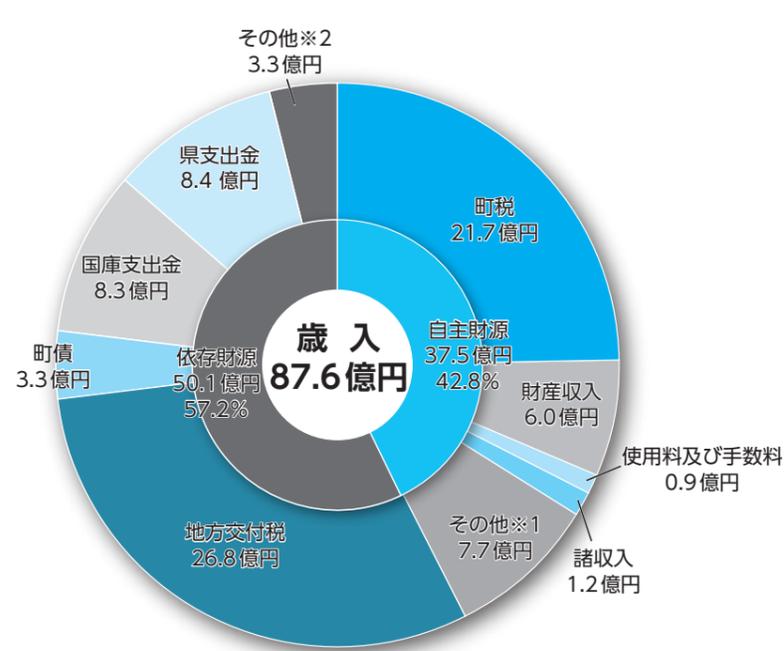
#### ◆用語解説

- 【義務的経費】 支出が義務づけられ、任意に削減できない経費
- 【投資的経費】 施設など、財産として将来に残るものにかかる経費
- 【普通建設事業費】 公共施設や道路などを整備するための経費
- 【物件費】 光熱水費、各委託料、備品購入費などの経費
- 【補助費等】 個人や任意組織に対する補助金などの経費
- 【繰出金】 一般会計から各特別会計に支出する経費
- 【積立金】 財政調整基金や各種特定目的基金に積立するための経費



#### ◆用語解説

- 【自主財源】 町が自主的に収入する財源
- 【依存財源】 国や県から定められた額を収入する財源
- 【町税】 町民税(個人・法人)、固定資産税(土地・家屋・償却資産)、軽自動車税などのお金
- 【地方交付税】 町の財政力に応じて国から交付されるお金
- 【国・県支出金】 事業の財源として使い道が決められた国や県から交付されるお金
- 【町債】 公共工事などを行うため国および金融機関から借りるお金
- 【その他※1】 寄付金や繰越金など
- 【その他※2】 地方譲与税や各種交付金など



# 人事

令和5年10月23日で任期満了となる選挙管理委員及び選挙管理委員補充員の選挙を行い、次の方が当選されました。

- 選挙管理委員**
- 村上美保子氏（雁小屋）
  - 渡部 洋子氏（菅谷）
  - 小野 俊雄氏（小川）
  - 齋藤 壽氏（中里）
- 選挙管理委員補充委員**
- 早川 清氏（新地町）
  - 吉田 雄二氏（城内）
  - 小泉ツキコ氏（新地町）
  - 鈴木 文雄氏（下真弓）



教育委員会教育長  
**佐々木 孝司氏**

教育委員会教育長に佐々木孝司さんを引き続き適任者として任命することに賛成多数で同意した。任期は3年。



教育委員会委員  
**田村 民雄氏**

教育委員会委員に田村民雄さんを引き続き適任者として任命することに全会一致で同意した。任期は4年。

## 決算審査 こんな質問が



- Q** 繰越金や不用額が多くなっているがその要因は。
- A** 災害復旧工事件数が多くなったことや、解体ガレキ処理費など予算を多めに計上したことが主な要因である。
- Q** ふるさと納税の現状や、返礼品の充実は。
- A** 金額は減っているが件数は増えている。返礼品は宿泊券や特別栽培米を検討している。
- Q** 職員のストレスチェックの結果や対応は。
- A** 災害復旧対応等でストレスを抱えている職員が増えている。
- Q** 大戸浜の防集元地は雑草が生え、住民は適切な管理を求めている。今後の利用と管理は。
- A** 現在は建設課で管理している。例えば、今後購入者がいれば、その購入者が管理し、土地を漁業組合に貸した場合は、担当は農林水産課になる。
- Q** 鹿狼山駐車場トイレの担当課は。
- A** 平成22年頃、水道事業所との話し合いで、給水管としての位置付けで敷設したが、低水圧の関係と今後の駐車場整備の関係から企画振興課の管理とした。
- Q** 河川・道路の草刈り作業の今後の考えは。
- A** 各地区で高齢化が進むなど課題が生じている。基本は現状維持でお願いしたい。今後、情勢を見極めながら検討する。
- Q** 認知症施策推進事業について、認知症地域推進員の活動内容は。
- A** 事業はしんち福祉会に委託している。推進員は包括支援センターや県で研修を受けた方で、地域における支援体制の構築、認知症ケアの向上を図ることを目的としている。
- Q** 鹿狼山駐車場のトイレの担当課は。
- A** 平成22年頃、水道事業所との話し合いで、給水管としての位置付けで敷設したが、低水圧の関係と今後の駐車場整備の関係から企画振興課の管理とした。

## 一般会計補正予算(第3号)を 歳入歳出それぞれ3億7200万円を増額し、総額61億1900万円に

### 補正

### 一般会計補正予算(第3号)

|                  |         |
|------------------|---------|
| 新規就農の経営発展支援事業補助金 | 1,200万円 |
| 鹿狼山登山道整備工事（設計含む） | 1,104万円 |
| 町道維持補修工事         | 650万円   |
| 原添地区調整池土砂撤去工事    | 120万円   |
| 杉目消防団車庫建築事業      | 88万円    |

#### 主な質疑

**問** 新規就農への補助金の内容は。

**回答** 財源は、全額県からの補助金を活用する。2名へ補助するもので、内容はネギ、ニラや花の栽培で、機械の導入等に充てられる予定。

**問** 鹿狼山登山道整備工事の内容は。

**回答** 既存のコースで、主に眺望コースの傷んだ石段周辺に土のうの設置や水切り工事、頂上から北に下りる連絡コースに立てているポールを繋ぐロープの交換などを予定。

### 一般会計・特別会計補正予算の概要

(単位：千円)

| 会計別     | 補正額     | 補正後予算額    |
|---------|---------|-----------|
| 一般会計    | 372,000 | 6,119,000 |
| 特別会計    |         |           |
| 国民健康保険  | 2,440   | 839,279   |
| 介護保険    | 42,308  | 852,908   |
| 公共下水道事業 | 50,621  | 345,618   |
| 合計      | 467,369 | 8,156,805 |



▲安全に登山が楽しめるように

### 条例

#### 町営住宅条例の一部を改正する条例

災害町営住宅の譲渡処分に伴い、町営住宅の管理戸数が26戸から19戸に変更。

#### 主な質疑

**問** 管理戸数は今後も維持していくのか。

**回答** これから戸数を増やすことは、人口増加等の理由がない限り考えていないが、需要等を考え、検討していく。

### 契約

#### 一般廃棄物最終処分場堰堤築造工事請負契約

令和5年8月18日指名競争入札に付した結果、相馬造園土木株式会社と6347万円で落札したので、議会の議決を求めるもの。

### 主な質疑

**問** 今回の築造工事で何年分の容量を確保できるのか。

**回答** 具体的な年数は示せないが、現在の処分場は当初平成18年3月で一杯になる計画だったが、ごみ分別など町民の皆さんの協力もあり今日まできている。効率の良い埋め立てや分別等をして延命を図っていきたい。

#### 藤崎排水機場除塵機整備工事請負契約

令和5年8月18日指名競争入札に付した結果、東開工業株式会社が1億1880万円で落札したので、議会の議決を求めるもの。

**問** 除塵機はある程度専門性のある業者になると思うが、入札などの経過は。

**回答** 県内での除塵整備等の実績ある業者で、今回入札は5社あった。

# 一般質問

ただ  
ここを質す!

# 町政を問う

今定例会の一般質問は、9月19日・20日に行いました。  
議員6名からは12件の通告があり、通学路の安全点検やアルプス処理水の海洋放出、高齢者世帯見守り活動などについて質しました。  
各議員からの質問内容は、左記のとおりです。  
以下、主な質問と答弁を、登壇した順にお知らせします。

## 6名の議員が質問

- 寺島博文議員 P7**
  - 1 防犯灯・街路灯について
  - 2 しんちゃんGOについて
  - 3 通学路の安全点検について
- 吉田博議員 P8**
  - 1 全国的な人口減少の中での町づくりについて
  - 2 アルプス処理水の海洋放出について
  - 3 旧新地高校の跡地利用について
- 八巻秀行議員 P9**
  - 1 住民力を活かす町づくりについて
  - 2 健康で元気な町づくりの創造について
- 寺島浩文議員 P10**
  - 1 人口減少対策について
- 水戸洋一議員 P11**
  - 1 高齢者世帯見守り活動について
- 井上和文議員 P12**
  - 1 アルプス処理水の海洋放出について
  - 2 安心して暮らせる社会について

### 議会を傍聴しませんか

★次回の定例会は  
12月初旬開会の予定です。

議会は、所定の用紙に必要事項を記入して頂くことにより、どなたでも自由に傍聴することができます。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。  
議会事務局（新地町役場3階）  
☎62-2190（直通）

## 防犯灯設置基準の簡略化を

### 回答 事務手続きを迅速に



**問** 防犯灯設置手続きについて問う。

**回答** ①毎年4月頃、各行政区に防犯灯設置の要望書の提出を依頼する。  
②要望書は、6月末に取りまとめを行う。  
③9月下旬から10月に町防犯協会役員で審議し、優先順位を決めて設置を決定する。

**問** 防犯灯は、要望から設置についての審議まで、半年以上かかっている。防犯灯は、緊急性が高い。もっと迅速に設置できる様、要望は、随時受付し、その都度現場を確認して審議すべきだ。

**回答** 防犯灯は地域からの要望を受け、町防犯協会役員会で優先順位を決めて設置している。今後も地域からの要望を確認しながら設置するが、事務的な調査、取りまとめについては迅速に対応できる様にしたい。

**問** 防犯灯は、町内に合計815灯ある。内LED灯は、276灯。残りの

539灯は、蛍光灯だ。LED灯の月額電気料金は、127円、蛍光灯は293円である。全てLED灯へ切り替えれば、年間で107万円の経費削減が出来る。積極的にLED灯にすべきだ。

**回答** 一斉に切り替える事は出来ない。防犯灯は、地域からの要望に応じて、設置・修繕は町が行い、電気料金は、地域で負担して頂いている。ご理解頂きたい。

**問** 町外にも運行するよう改善すべきだ。

**回答** 町外への運行については、すでに営業されているバス会社や、タクシー会社など公共交通事業者があるため、そこに参入する事は出来ない。

**問** 見直しを検討している新たな制度において、町外への運行は民間タクシー利用者への補助で、公立相馬病院への通院の足を確保したい。新たに運行する拠点通



▲設置手順の簡略化を



▲利便性の良いしんちゃんGOへ

**問** 町は年に1回、通学路の安全点検を実施している。通学は、日中だけではない。中学生は部活動等もあり、暗くなつてからの帰宅もある。夕方暗い時間帯での安全点検を行うべきでないか。

**回答** 毎月、防犯協会を中心に夕方薄暗くなつてから、見廻りを行い、下校時の子どもの安全を確保している。

**問** 夕方遅い時間帯での点検は、時間外となるので、難しい。

**回答** 時間外となり難しい

**問** 通学路の安全点検について  
暗い時間帯での安全点検を



吉田 博 議員

# 人口対策必要では

## 回答 転入促進を図る

**問** この一年で町内人口が約100名の減となっている、町として更なる人口対策が必要と思うが、具体的な対策としてどのような事を行うのか町の考えを伺う。

**回答** 人口の変動には死亡数と出生数の差による自然増減と、転出転入の差による社会増減があり、当町の減少傾向の要因は死亡数が出生数を上回る自然減の状態にあり、転出の抑制と若い世代の転入促進を図りたい。

**問** 人口減少に伴って今後、交付金や税収の減額も予想される。町内にある3小学校、3保育所の維持管理にも多くの財源が必要であり、今後の対策を講ずる必要があるのではないだろうか。

**回答** 当町の税収構造は大きな減少リスクが少ない住民税を基本とするものではなく、町内立地企業の大規模償却資産にかかる固定資産税が大きな役割を示している。

ており、今後固定資産税が減収していくことが見込まれることから、将来を見据えた維持管理計画など施設の適切な保全・様々なコスト削減と、公共施設の長寿命化の推進に務め、財源確保しながら、更に安定的な財政運営をしたい。

**問** 町の現状を見た場合相当な改革が必要であり、有識者や、多くの町民の意見を聞くべきではないか。

**回答** 人口減少問題への取り組みは大変重要と考えている。これまで、総合計画策定委員会、町民アンケート調査、町づくり懇談会等々で町民の皆さんから意見を頂いてきたが、この問題には関係部署の垣根を超えて人口減少問題に取り組む。



▲海洋放出に風評懸念して船出を待つ

### 処理水、海洋放出の是非

**問** 町の基幹産業として漁業に、風評被害が出ていることを大変苦慮している。町として海洋放出以外の処理方法にシフトするような意見を出すべきと思う。

**回答** 国民に向けた総理の発言の重さと責任を慎重に受け止め、アルプス処理水の海洋放出が安全に実行されることを願う。

**問** 政府は関係者の理解が得られなければいかなる処分も行わないとした約束を反故し、8月24日漁業者の反対をよそに見切り発車したことは許されない。この行為をどう受け止めるのか。

**回答** 政府と漁業関係者との話し合いなのでコメントを控える。

### 旧新地高校利用は町民の意見で

**問** 旧新地高校の跡地利用について、町職員5名が選任された。町民の意見をどのように反映させるのか。

**回答** 新地高等学校空き校舎等活用検討委員会設置要綱を定め、12名以内で組織し、町議会議員、行政區長、各種団体の代表者、学識経験者に就任して頂く検討をしている。

### 各種団体代表で委員会設置

**問** 旧新地高校の跡地利用について、町職員5名が選任された。町民の意見をどのように反映させるのか。

**回答** 新地高等学校空き校舎等活用検討委員会設置要綱を定め、12名以内で組織し、町議会議員、行政區長、各種団体の代表者、学識経験者に就任して頂く検討をしている。

# 投票支援カードを

## 回答 次回から導入



八巻秀行 議員

**問** 今年は統一地方選挙の年であり投票所で障がい者や高齢者などを手助けする投票支援カードやイラストや文字を指さして、困っていることを伝えるコミュニケーションボードを使った自治体が増加している。投票支援カードはA4判で、投票に際して手伝って欲しい内容にチェックをして入場整理券と一緒に係員に手渡すとスムーズに投票できる仕組みになっている。代理投票制度はあるが、障がい者や高齢者は意思の疎通が難しい場合もあり、スムーズに投票できないケースもあると思う。もっと町民に寄り添った対応ができれば投票率アップに繋がる。



▲町民に寄り添った対応を

**問** 今年7月に入り、町から行政区に高齢者世帯等見守り活動実施の要請があり菅谷地区では、7月15日に臨時役員会を開いた。当地区では対象世帯が15戸程度で、名簿は個人情報により出せないとのことで、該当すると思われる世帯に意向調査を行なったところ、2世帯からしか申し出がなく、高田地区においても2世帯だった。

**問** 趣旨は大変いいのだが事業実施には難しい課題が沢山あり、町が心配しても個人の希望が優先し、中々進まないという危惧がある。そんな中で、民生児童委員の活動と重複する部分もあり、自主防災組織、消防団も同様の活動をしている。また、百歳体操やサロンカフェには元気な高齢者が集まっているが、参加せずに家にいる

### 見守り活動に

#### Q&Aを

### 回答 ハードルを低く

**問** 今年7月に入り、町から行政区に高齢者世帯等見守り活動実施の要請があり菅谷地区では、7月15日に臨時役員会を開いた。当地区では対象世帯が15戸程度で、名簿は個人情報により出せないとのことで、該当すると思われる世帯に意向調査を行なったところ、2世帯からしか申し出がなく、高田地区においても2世帯だった。

る高齢者が対象と思う。地区によって進め方が様々なので、もっと行政区等にきめ細かな指導が欲しいと思う。今後どう定着させていくのか。

**回答** 8月末現在で9団体が補助金申請しており、それぞれ活動している。見守り方も様々で、今後意見を頂き、課題も見えてくると思うので、地区代表と情報を共有しながら定着させる。

**問** 地区役員が該当世帯に伺い、インターホンを押しても出てこなければそれで帰っていいとしているがそれでいいのか。また、色々な疑問に対処するためQ&Aを作り進めてはどうか。

**回答** 地区のやり方で、強制的にならないようハードルを上げない活動を望む。



寺島浩文 議員

# 住宅政策の事業評価は

## 回答 一定の効果があった

**問** 住宅移住定住希望者の受け皿となる住宅政策について伺う。福田分譲住宅12区画はすべて完売と伺っており、取りあえずの目的は達成できていると思う。ただそこに至るまでのプロセスは、どの様に評価されるのか伺う。また若者定住促進住宅について、事業評価と今後の見通しについて伺う。

**回答** 福田分譲住宅は令和2年12月に造成工事が完了し、12区画を整備した。本年8月に最後の1区画が契約に至り、販売計画を上回る2年8カ月での完売となった。現在の居住している世帯のうち、町外からの移住者は6世帯15人、町内は5世帯17人となっており、移住定住政策として一定の効果はあったと考えている。定住促進住宅については、福田地区と中島地区に若者定住促進住宅があり、当初の計画通り入退去の頻度が多い状況にある。退去後に新築する方が多

く、うち8世帯が町内に新築等で住居を構えていることから、移住定住の効果は大きいと考えている。

### 交流人口・関係人口は

#### 回答 増加傾向にある

**問** 移住定住人口を増やすには、まずは新地を知ってもらう事が非常に重要である。その為には新地を訪れてもらう交流人口・何かしらの形で新地に関ってもらう関係人口の拡大が重要である。町でもその取り組みは行ってきたが、実際に増やすことが出来ているのか、その評価と今後の見通しについて伺う。

**回答** 新型コロナウイルス感染症の5類移行や、昨年度から実施している「しんち魅力体感・発信事業」によるPR効

果、町内への企業進出などにより交流人口は増加傾向にあると考える。今後の見直しについては、現在取り組んでいる「鹿狼山駐車場整備事業」、「しんち魅力体感・発信事業」では、今年度は海釣り公園での釣り体験を含めたツアーを予定しており、当町の魅力を発信していくなどの取組みを行いながら交流人口・関係人口の増加を図っていききたい。

### 人口減少対策を

#### 回答 横断的な取組で各種施策を進める

**問** やはり町にとって一番の懸案事項は、人口減少に歯止めがかからない事である。人口減少問題に取組む対策室、または専門チーム（プロジェクトチーム）の設置は必要ではないか。

**回答** 人口減少問題への取組み、特に若者の増加が必要と考えている。これらの取組みについては、住まい、子育て、福祉、教育などの各分野にわたる事から、施策の計画や実施に向けては、関係部署の垣根を超えた横断的な取組が必要である。当面は現体制において第6次総合計画の行動計画で各課が進める施策や事業を共有し、連携を密にしながらか種施策を進めていきたい。



▲釣り大会が好評開催中

### 講習会の開催は

#### 回答 出前講座で対応

**問** 今後、見守り活動対象者の変化や多様化が起こってくる事が予測される。また、コロナ感染が収束していない状況下で、活動にも影響を及ぼすことも懸念される。

**回答** 見守り活動を継続、より充実していくためには、見守り活動を希望しない方への対応、デジタルツールの導入や、地域住民が自ら参画・運営するサロンの団体による支援する考えはあるのか。

**回答** 対象者の変化や多様性の対応に専門的な知識や行動が求められる。活動を定着させるためにも、講習会等を実施すべきではないか。



▲地域サロンでのコミュニケーションづくり

# 見守り活動の取組は

## 回答 推移を見て対応



水戸洋一 議員

**問** 一人暮らしの高齢者世帯や、高齢者夫婦世帯が年々増加している。高齢者が地域で安心して暮らしていくためには、高齢者の在宅生活を見守り、支え合うことが重要となってくると予想される。今回の「新地町高齢者見守り活動」には大いに期待している。期間がなかったことや行政側の説明が、区長側に十分に伝わらなかったためか、各地区での活動内容に認識の格差が感じられるが、どのように対応するか伺う。また、見守り活動で対象者の異変に気づいた時、専門的な知識が必要になってくると思うが、関係機関等との連携をどう図るのか。

**回答** 格差は



▲見守り活動イメージ

町としても認識している。今後各地区がどのように見守り活動をしているのか分かってくると思っており、方法、課題については区長会を通し情報を共有し、活動が定着するようにしたい。関係機関との連携は、警察、消防が想定されるが現在のところ情報の共有はしていない。今後、説明し趣旨の共有をしていく。



井上和文 議員

# 新地の漁業を守れ

## 回答 連携して取り組む

**問** 8月24日、国、東電はアルプス処理水の放出を開始した。全漁連は、「反対は、変わらない」と抗議の声を上げており、定期総会で「反対の特別決議」を採択、放出反対は日本全国の漁民の声となっている。今はすべての魚種で安全基準以下の数値が出ているが、全国世論調査では風評被害に懸念88%、政府説明不十分81%などの結果も示されている。新地町としての風評対策はどのように考えているか。

**回答** 国の風評対策費は1007億円。風評が懸念される事案の把握や、風評発生時にも事業者等の状況に応じて機動的な体制を構築すること。町としては動向を注視して漁業者や漁協と連携し情報発信等に取り組む。

**問** 原発事故の後、漁業者は試験操業を続けながら流通業者、卸売市場、関係者と話し合い、漁獲量、魚種などを増やす努力を積み

重ねながら水揚げ量を震災前の2割にまで回復させた。今年から本格操業への移行を決めていた矢先の放出に漁民たちの怒りの声上がるのも当然であり、今後の水産業振興にとつても死活問題だ。町でも現場に出向き、現場の声を聴き、担当課だけでなく全体で漁業を応援する攻めの町政が求められている。

**問** 物価高騰が暮らしを直撃している。事業者や全



▲風評防ぎ漁業への支援を

「浜の活力再生プラン」「がんばる漁業復興支援事業」の操業規模拡大、水揚げ量も震災前の50%に戻す等の取り組みをする。また屋内共同作業場の整備も進めている。学校でも地産地消70%なので連携して取り組む。

### 物価高全世帯支援を

**回答** 国の交付金等で検討する

**問** 物価高騰が暮らしを直撃している。事業者や全

**回答** 接種体制を整えていく

**問** 新型コロナウイルス感染症の5類移行後の状況は。またワクチン接種が始まるが無料接種は来年の3月までという。情報提供や接種推奨を図るべきは。

**回答** 相双地方の6ヶ所の定点医療機関の報告では、相双地方が県内で陽性者が一番多いようだ。10月下旬から始まるワクチン接種で若い方にも接種して頂けるよう体制を整えていく。

## 別会告 員 特委報

各特別委員会は、調査目的を決め、令和元年12月11日に設置された。議会活性化は令和5年3月17日に設置。今定例会において、この4年の取り組みについて報告を行った。

# 新地発電所増設等整備促進特別委員会

## 増設に向けた要請を継続

新地発電所は、平成6年に1号機、平成7年に2号機が運開され、運転開始から20年以上にわたり、財政基盤の充実、道路整備・福祉向上・地域の活性化等の町づくりに大きく寄与してきた。平成27年3月には木質バイオマス燃焼設備が完成し、平成30年6月には、国が定める保安体制と高度な運転管理が認められ「システムS」を取得し、法令点検のインテグレーションが延長されるなど、安全優先での安定運転や環境に配慮した電力の安定供給に日々努力している。



▲環境に優しい発電所の増設を

い新地発電所3・4号機の早期増設に向けて、今後とも相馬共同火力発電株式会社をはじめ、JERA(ジェラ)、東北電力及び関係省庁に対し、2050年のカーボンニュートラルに適切した火力発電所増設の早急かつ積極的な要請活動及び調査を続けていく必要がある。

# 常磐自動車道及び東北中央自動車道整備促進特別委員会 各自動車道 全線開通

常磐自動車道については、平成27年3月1日に常磐富岡IC―浪江IC間が開通し、常磐自動車道は全線開通となった。

常磐自動車道の全線開通により、災害時などの緊急を要する物資の運搬や、除染廃棄物の中間貯蔵施設への輸送など、高速道路の利用は大幅に増加すると見込まれることから、4車線化に向けて関係機関等に対し要望活動等を行ってきた結果、国において浪江―山元間が4車線化優先区間に選定された。事業中である浪江IC―南相馬IC間の一部区間及び相馬IC―新地IC間の早期完成や、残る区間の早期事業化等が求められている。

東北中央自動車道については、令和元年12月22日に



▲4車線化の状況等を調査



▲誘致企業(株)ソーカにて視察研修

東日本大震災から13年目を迎え、復興交付金事業計画の総合的な実績評価に対する調査と、被災地雇用創出企業立地補助金を活用した町の誘致企業(株)ソーカを訪問し情報交換を行った。また復興事業により整備された施設の検証と今後の課題についても調査を行った。

## 復興推進特別委員会 整備施設の 魅力活かして

事業費の総額は町分として約318億円(うち国費が約253億円)となり、防災集団移転促進事業を始め、災害公営住宅、釣師防災緑地、文化交流センター、フットサル場、複合商業施設、区画を大幅に増やした海釣り公園など、多くの施設が整備され、復興は着実に進んでいると感じる。

人員不足から本社のある山形県から人員を補充している状態である。町としても町の人口流失を減らすためにも企業と密に情報交換を行い、地元採用人数を増やしていただきたい。また、多くの町民が望んでいるスーパーマーケット誘致を急がたい。

復興事業により整備された施設の検証と今後の課題については、各施設の利用人数はコロナ禍により思うようには伸びてはいないが、利用人数自体は増えてきている。コロナウイルスが感染症法5類に移行された事から、今後よりリピーター客や新規の利用者を増やし、交流人口拡大を図っていくためにも、今まで各施設で起きたトラブルや、利用者からの要望・苦情を検証し、より魅力ある施設として整備を進めていかなければならない。



▲国見町議会にて議会基本条例について学ぶ

## 議会活性化特別委員会 より議論を深める

地方分権時代を迎え、二元代表制の一翼を担う町議会が町民の代表機関としての役割と責任は重要なものとなっている。議会がその役割を果たしていくには、更なる議会の活性化や改革を図っていく必要がある。

そこで、特別委員会では、テーマを絞り各種調査資料による検討や、先進地事例の研修等を通して、具体的な課題の整理などについて活発な討議を交わした。また、特別委員会の方向をまとめていくにあたっては、全会一致を原則とした。

## 委員会 レポート

7月11日、「入札及び契約の現状」、「イベント時における避難行動計画の在り方」について、調査した。

### 入札及び契約の現状

|    | 2年度 | 3年度 | 4年度 | *5年度 |
|----|-----|-----|-----|------|
| 委託 | 58  | 80  | 66  | 3    |
| 工事 | 45  | 67  | 45  | 45   |

\*令和5年度は6月まで

▲3、4年度は震災復旧等にかかる委託・工事が増加

## 総務文教常任委員会 避難行動の周知徹底を

### ○令和5年度発注予定の主な案件

- ・大戸浜排水機場機能保全策定業務委託
- ・水産業共同作業場実施設計業務委託
- ・橋梁補修工事及び駒ヶ嶺停車場高田線橋梁設置工事

### ○イベント時における避難行動計画の在り方

町は災害の発生を常に想定し、災害が発生した場合でも、町民の生命と財産を守るため、被害の最小化及び迅速な回復を図るために、新地町災害防災計画や防災マップなどを作成し、行政と防災関係機関、町民などの様々な組織と連携し、自助・共助・公助の精神に基づいて取り組む。

### ○災害対策の基本方針

町内施設の消防計画  
消防法に基づき、防火管理の業務について必要な事項を定め、火災、震災その他の災害の予防及び人命の安全並びに被害の防止を図ることを目的に消防計画を定めている。

### ○イベント開催時の避難行動計画

町主催のイベントについては、「新地町地域防災計画」「消防計画」「国民保護計画」等に基づき事前対応や緊急対応を図ると共に、民間主催等の催しについては、それぞれの所管課が主催者に対して、イベントの実施計画書の提出と併せて責任者の確認、更に災害時の避難誘導計画書及び災害時対応について指導している。

## 産業厚生常任委員会 ワンストップ体制を

### 7月21日、少子高齢化対策の現状と今後の取り組みについて、調査した。

### 少子高齢化の現状と今後の取り組み

今年4月1日現在、町内の子ども(18才以下)の人口は、この3年で約100名減の1198人、一方65才以上の高齢者は約120名増の2669人と少子高齢化が進んでいる。

様々な支援等を行っている。この他、要介護(要支援)認定者数は、ここ5年間は450人程度で推移している。介護予防のための出前講座、訪問指導等を行い、いきいき百歳体操支援等や国民健康保険事業における総合検診等を実施している。各施策を広くPRするとともに、役場全体で、各課を越えてワンストップで応える体制を整えるべきである。

| 担当課   | 事業・内容   |
|-------|---|
| 町民課   | 出生児祝金<br>出生児1人につき3万円(要件あり)                    |
|       | ※在宅保育助成金<br>月4,500円                           |
|       | 保育料軽減<br>3才未満児の保護者に月3千円<br>2人目以降の保育料を無償化      |
|       | 結婚新生活支援<br>30万円を上限に補助(要件あり)                   |
|       | 延長保育<br>1時間200円<br>3才以上児の保育料無償化及び副食費無償化       |
| 健康福祉課 | 出産・子育て応援給付金<br>母子手帳交付時に5万円<br>出生時に5万円(合計10万円) |
|       | ※高齢者世帯見守り活動<br>自主防災組織を主体に実施                   |

\*令和5年度より新規事業

# ようこそ新地町へ

## 住みよい町へ

藤崎地区にお住まいの鈴木 牧恵さんに、新地町の印象や、望むことなど、お話を伺いました。

### 新地町に居住したきっかけ

南相馬市鹿島区で生まれ育ち、東日本大震災当時も鹿島区に住んでいました。23歳の時に結婚をし、それがきっかけで夫の実家がある新地町に移り住みました。現在は藤崎地区で子育てに奮闘しています。

### 町の印象は

移り住んだばかりの時は新地町の雰囲気になじめるか不安でしたが、故郷の鹿島区に雰囲気似ていることや、山と海に囲まれた自然豊かな環境がとても肌に合い、すんなりとなじむことができました。

家族のお気に入りスポーツは釣師防災緑地公園で

す。定期的開催されるイベントの中で特に子どもたちが喜んだのは『つるしハロウィンパーティー』です。クイズ大会やお菓子探など、体を動かしながら参加できるイベントで、私も子どもたちと一緒に運動することができました。また、管理事務所内で購入できるレモネードソーダが子どもたちのお気に入りイベントの有無にかかわらず通っています。

### 町に望むこと

子どもたちが思い切り遊べる大きな公園や鹿狼山、海水浴場もあり、休日の遊び場としては満足しています。ただ、もう少し新地駅前がにぎわってほしいといいなと思います。

日常生活においてはドラッグストアができたことで多少は楽になりましたが、食料品を買うために仕事終わりに相馬市まで行かなければならず大変です。また、医療関係で言えば、



小児専門で診てくれる病院がなく、救急ですぐに子どもを連れて行きたくても相馬市まで連れて行かなければなりません。夜間や救急診療で子どもを診てくれる病院が新地町に欲しいです。私は日本生命の外交員として仕事をしており、生命保険や損害保険を通じて新地にお住まいのお客様を守りしていきたいと思っています。新地町の発展と子どもたちのよりよい未来を願っています。

## 編集後記

9月7日～9月22日迄、議会定例会会期及び審議が行われました。この期間中、12名の議員が一丸となって、重要な決算審査の決議を行いました。また、一般質問では4年間の議員活動を通して見えてきた問題点や新地町の将来を見据えた質問が多々行われました。

11月には議員選挙が控えております。新たな代表者を選出し、町民の信任を得る機会です。我々は常に町民の声に耳を傾け、町民の要望を代表する努力を惜しみません。選挙が行われる際には、皆様の積極的な参加を期待しております。

(藤田 修)

### 編集委員

- 委員長 藤田 修
- 副委員長 水戸 洋一
- 委員 吉田 博
- 委員 齋藤 充明
- 委員 寺島 博文



## プロフィール

鈴木 牧恵さん (藤崎地区)

新地に住んで9年  
夫と子ども3人の5人暮らし  
出身は南相馬市